



# 新バージョンCV2 Recurring (\*API version2) 実装説明資料

2021/06/14

アマゾンジャパン合同会社  
Amazon Pay事業本部

# 目次

- ✓ CV2の全体像：現バージョン（CV1）からの改善点
- ✓ CV2の実装ポイント
- ✓ その他補足説明事項

当章では、以下の観点からCV2の全体像をお伝えします。

- ・ CV1との違い：CV2の主な改善点、CV2のUXフロー(CV2デモサイト)、CV1からの機能変更箇所
- ・ CV2インテグレーションの流れ：CV2のUI/UXとインテグレーションの流れ(例)
- ・ インテグレーション資料：インテグレーションガイド

大きく以下の3点が、CV2の改善点となります。

### ①ITP※へ対応

CV1ではCookie利用のため、ブラウザのセキュリティー強化(ITP)の影響を考慮し、対応が必要

CV2では、Cookieを利用せずに処理を行うため、対応が不要

### ②サイトデザインへの影響が減少

CV1では、ボタンはサイズ4種類からのみ選択

アドレス帳・支払い方法はウィジェットを埋め込む実装が必要

CV2では、ボタンの縦横を指定可能  
アドレス帳・支払い方法はAmazon側の画面で選択

### ③オーソリのエラー制御が容易に

CV1では、オーソリ処理で複雑な判定制御を事業者様のサイト側で実施が必要

CV2では、Amazon側で制御  
サイト側は成功時の遷移先・失敗時の遷移先を指定するだけで導入可能

※ITP (intelligent tracking prevention) とは、広告やアフィリエイトからユーザーのプライバシー保護が主目的のブラウザ機能で、主にユーザー情報の記録・保存ができるCookieの利用制限を強化する方向になっております。

次のデモサイトでCV2のUXを確認ください。(CV1開発時のテストアカウントをご利用下さい)

<https://d1dzeyz9clfk1h.cloudfront.net/maxo-demo/recurring-v2/01.html>



Amazon Payで管理する画面



Amazon Payで管理する画面

注文  
完了

※(ご参考)CV1の場合：ウィジェットを埋め込み



Amazon Payの機能に対する変更点は以下のとおりです。

機能	CV1からの変更有無	コメント
ボタン	変更あり	ボタン表示の実装方法が刷新。お届け先・支払い方法・お支払い同意ウィジェット実装は不要。
API	変更あり	APIの種類・APIの呼び出し方法が刷新。
IPN (インスタント支払通知)	変更あり	通知される内容がIDのみとなる。 事業者側でGetを用いて本文を取得する形に変更。
セラーセントラル	変更あり	API認証キーの発行機能が追加。 取引管理は、CV2のオブジェクトもCV1に変換され表示される。ステータスなどの読み替えが必要となる。
購入者用通知メール	変更あり	オーソリのキャンセル通知が追加される。 ※CheckoutSession有効期限内にCompleteCheckoutSessionを実施されなければ、送付される。
購入者用マイページ	変更なし	—

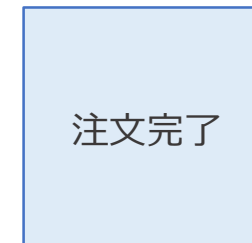
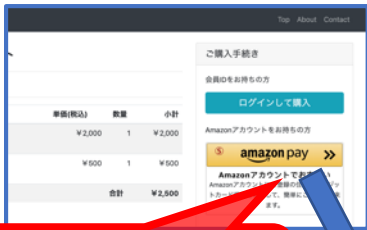
カート画面

注文情報入力/確認

注文確定

請求時

フロント



① ボタンの追加 (JavaScript)

※CV2ではウィジェット組み込みが不要に

※CV2ではオーソリ判定制御はAmazon側で実施

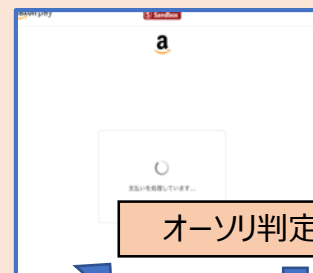
Amazon側



ログイン



住所・支払い方法選択



オーソリ判定

⑤適切なタイミングでのAPIコールの追加 (例：週次、月次、年次など) ※月の上限は10万円

※ログイン画面への遷移はリダイレクト方式(画面遷移)で統一

サーバサイド

与信処理

※処理結果を元に、成功時の遷移先・失敗時の遷移先を指定する

売上請求処理

請求処理

②APIコールの追加 + オーソリ判定ページへのリダイレクト

③ APIコールの追加

④ APIコールの追加

- ✓ CV2を導入する事業者様向けに、実装手順を記載した「インテグレーションガイド」及び「APIリファレンス」を提供しております。

<https://developer.amazon.com/ja/docs/amazon-pay/intro.html>

- ・本ページでは、**デモサイト**、**設計例**も公開しております。
- ・本ページから、**SDK**、**サンプルコード(PHP、Java、.NET、Node.js、Ruby)**をダウンロードしてご利用ください。

提供SDKは以下の通りです

- PHP →PHP 5.5以上
- Java → Java1.8以上
- .NET →.Net Core 2.0 or .Net Framework 3.5
- Node.js →Node 8.0以上
- Ruby →Ruby 2.3.0 以上

- ✓ CV2のFAQも順次追加しておりますので、ぜひご活用ください。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/index.html>

FAQ例：

- ・本番環境へ切り替えるために必要なことを知りたいです。
- ・アカウント情報として何が取得できますか？
- ・再オーソリの処理方法を教えてください。

CV2では、ボタンの表示方法・APIの全てが刷新されます。

当章では、前章の概要を踏まえて、実装を進める上でのポイントをまとめます。

- ・ APIの呼び出し方：キーの発行
- ・ CV2APIのオブジェクトの概念：オブジェクト一覧とリレーション、オブジェクト状態遷移
- ・ CV2実装における処理フロー：処理フロー：注文確定、売上請求、取り消し、継続支払いの解除
- ・ CV2実装における留意点：実装後のチェック項目

実装いただくにあたって、最初にキーの発行が必要です。

[キー発行の手順]

1.セラーセントラルにアクセス

2.Amazon Pay(テスト環境) →インテグレーション タブ→インテグレーションセントラル にアクセス

3.チャンネルで「ウェブサイトまたはモバイル」を選択→「自社開発」と「CV2」を選択し、手順を見る を押下

※ご利用のソリューションプロバイダが選択肢にある場合は、そちらをご選択下さい。

4.キーペアの作成 ボタンより、PublicKeyIdとPrivate Keyを作成・取得する 注：Private Keyは紛失や漏洩のないようお取り扱い下さい。

(PublicKeyIdとPrivate Keyは、API呼び出しを行う為に必要となります)

The image shows a sequence of three screenshots illustrating the key pair creation process:

- Left Screenshot:** 'インテグレーションの概要' (Integration Overview) page. It shows the 'インテグレーションガイドとAPI呼び出しに必要な情報' (Integration Guide and Required Information for API Calls) section. The 'インテグレーションチャンネル' (Integration Channel) is set to 'ウェブサイトまたはモバイル' (Website or Mobile), and the 'ソリューションプロバイダ' (Solution Provider) is set to '自社開発' (Self-developed) with 'V2' selected. A '手順を見る' (View Instructions) button is visible.
- Middle Screenshot:** 'インテグレーション手順 自社開発 V2' (Integration Steps Self-developed V2) page. It shows the 'API キー' (API Key) section under 'Authorization Tokens'. The 'ストア名' (Store Name) is 'test001\_Shima' and the '出品者ID' (Seller ID) is masked. A 'キーペアの作成' (Create Key Pair) button is highlighted.
- Right Screenshot:** 'API キーの作成' (Create API Key) dialog box. It asks '何をしたいですか?' (What do you want to do?). The selected option is 'Amazon Pay APIにアクセスするためのPublic Key、Public Key ID、Private Keyを作成します。' (Create Public Key, Public Key ID, and Private Key for Amazon Pay API access). Below, there is a text input field for the key name and a 'キーの作成' (Create Key) button. A callout box points to the 'キーの作成' button with the text: 'キーペアの名前を付与した後に、キーの作成ボタンを押下' (After assigning a name to the key pair, press the Create Key button).

詳細は下記FAQをご覧ください。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-59>

## 注文確定まで

## Checkout Session

- checkoutSessionId
- 購入フローを完了させる為のURLs
- chargePermissionType: Recurring
- chargePermissionの情報
- chargeIdの情報

24時間有効

※各オブジェクトに有効期限があります。

## 注文確定後

Charge Permission  
(Recurring用)

- chargePermissionId  
→Charge(Authorize/Capture)で必要
- ステータス
- 購入者
- 月額上限金額残高※2

13ヶ月※1

## Charge

1 無制限

## Charge

- chargeId  
→Refundで必要
- ステータス
- オーソリ金額
- 請求金額

オーソリ  
30日間有効

## Refund

1 10

## Refund

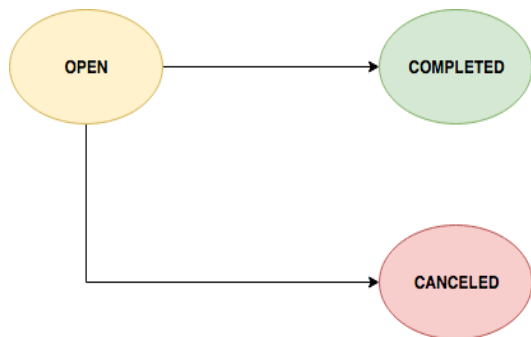
- refundId
- ステータス
- 返金金額

無期限

※1 ChargePermissionの有効期限については、期間内に一度売上請求を頂くことによって、延長されます

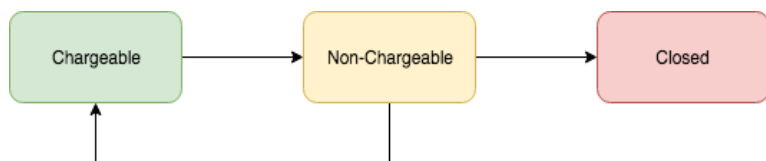
※2 一つのCharge Permissionにつき、毎月の上限は、10万円です。

## Checkout Session

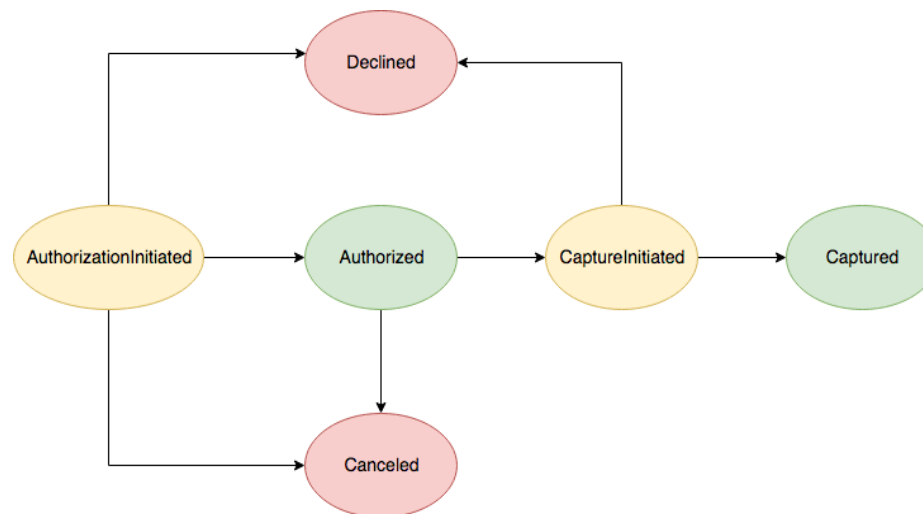


※API呼び出し、有効期限到達などによって  
各オブジェクトは状態遷移します。

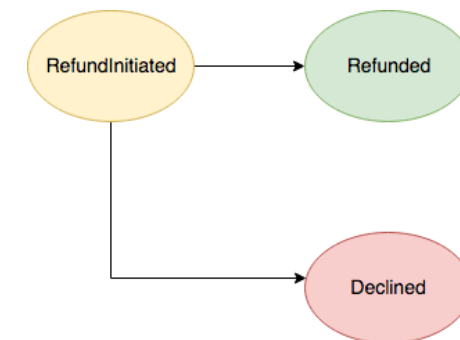
## Charge Permission

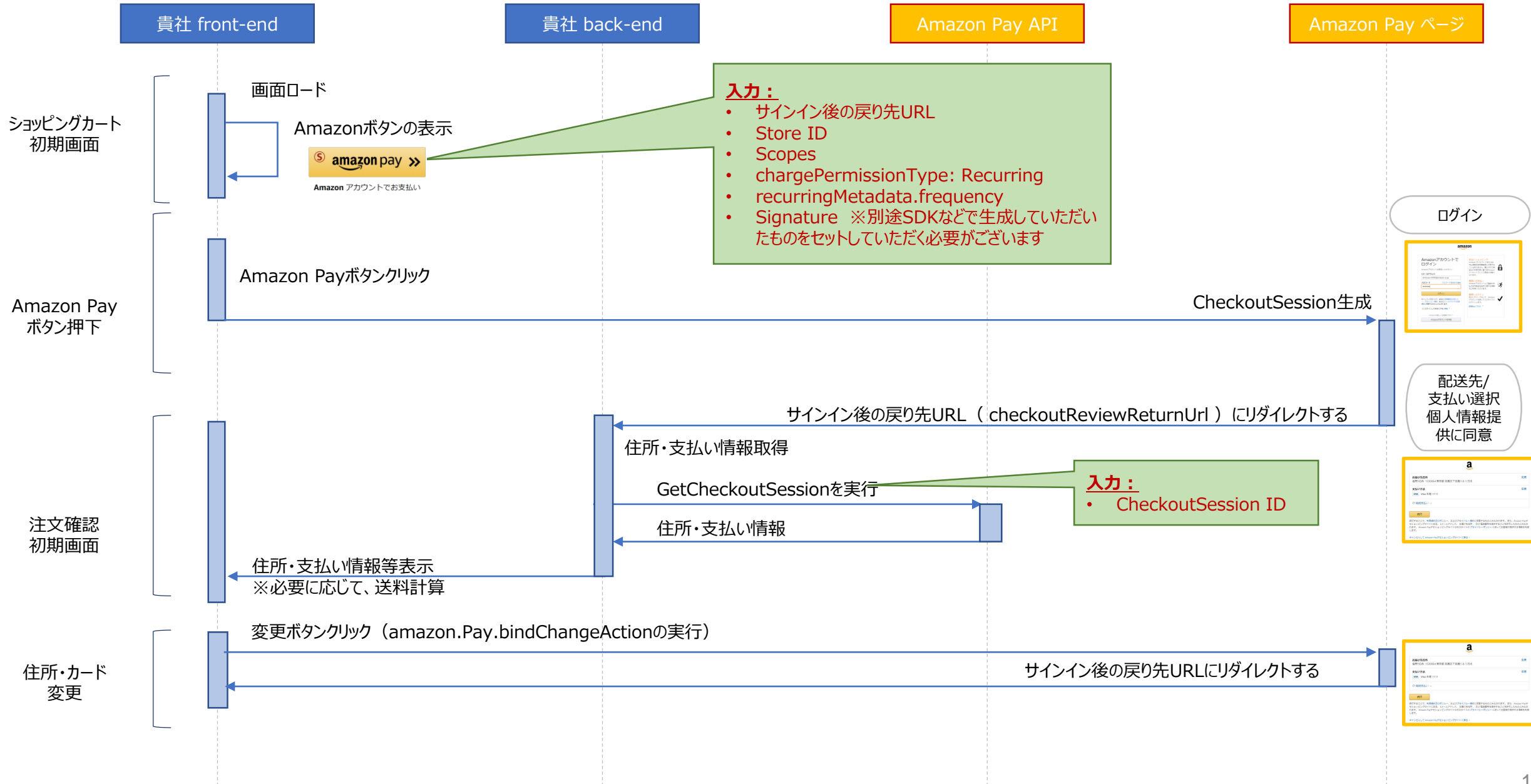


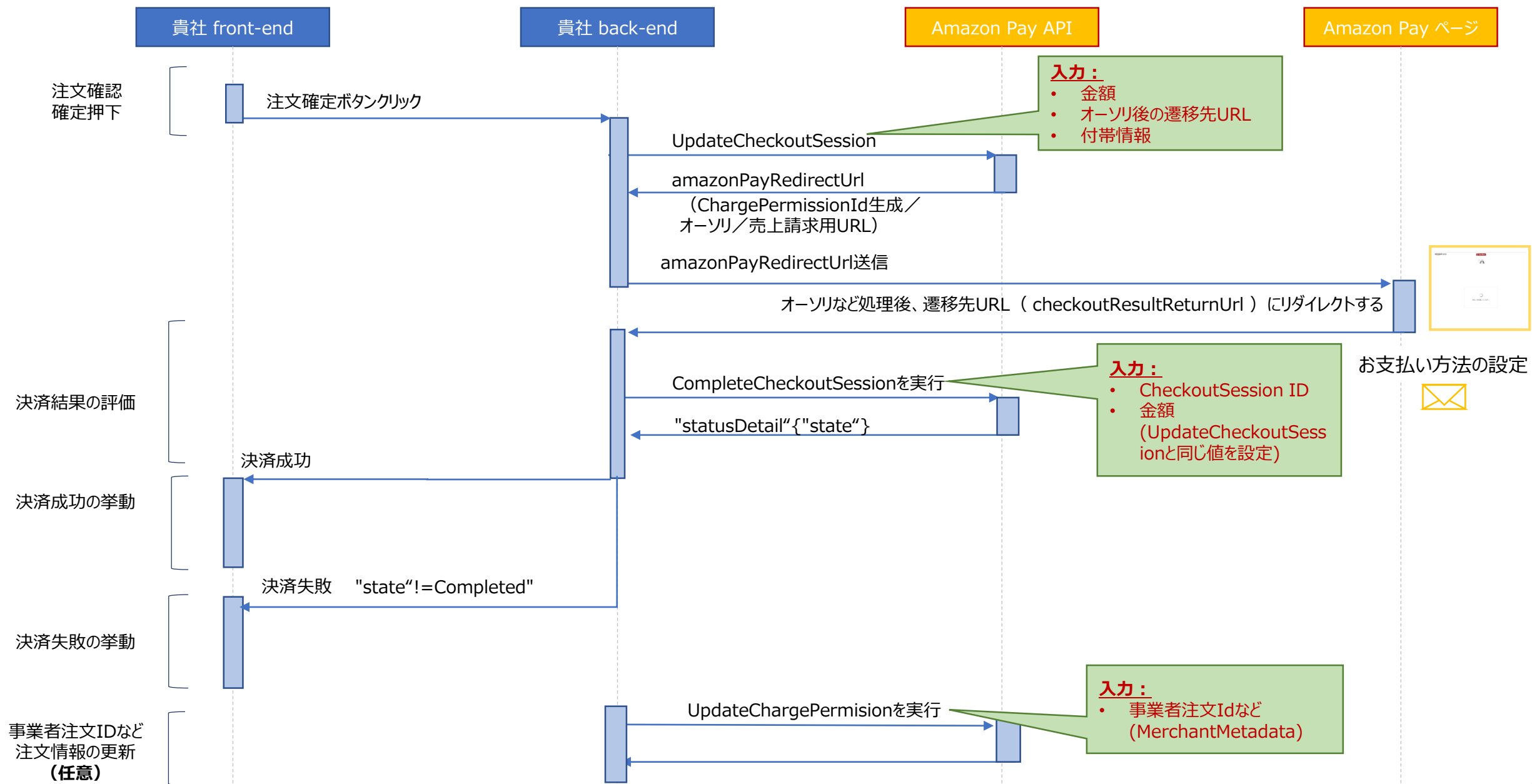
## Charge

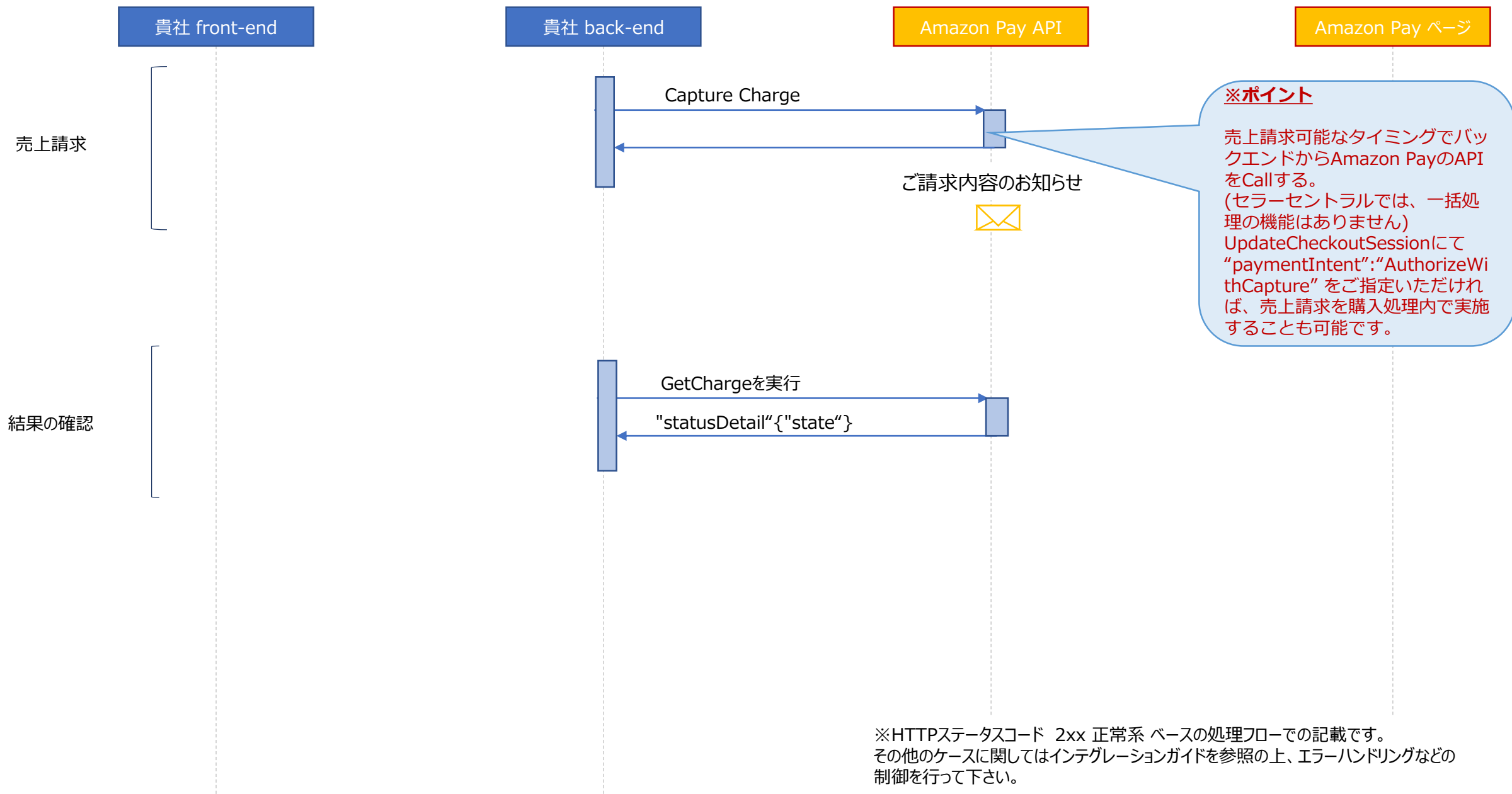


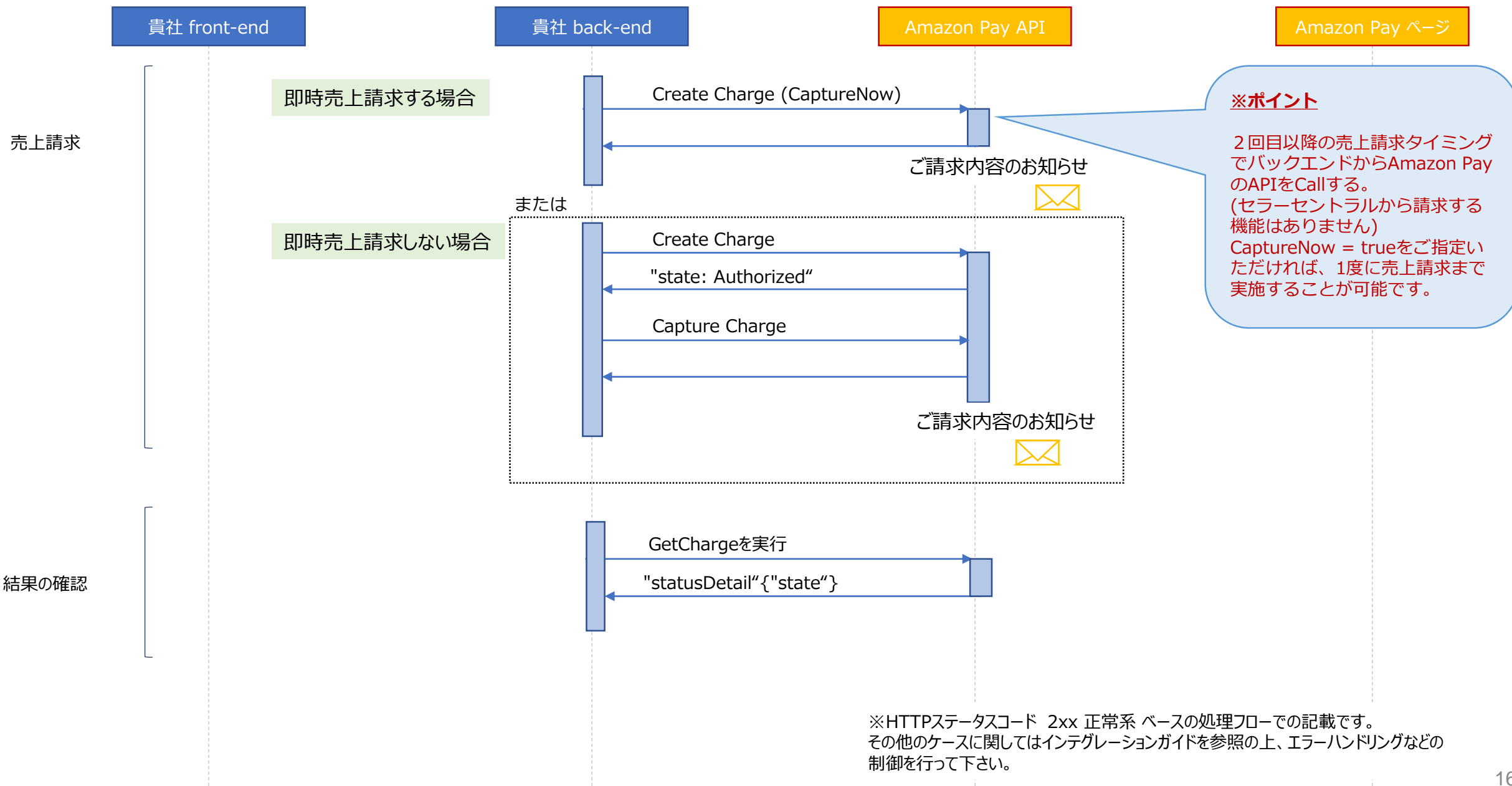
## Refund

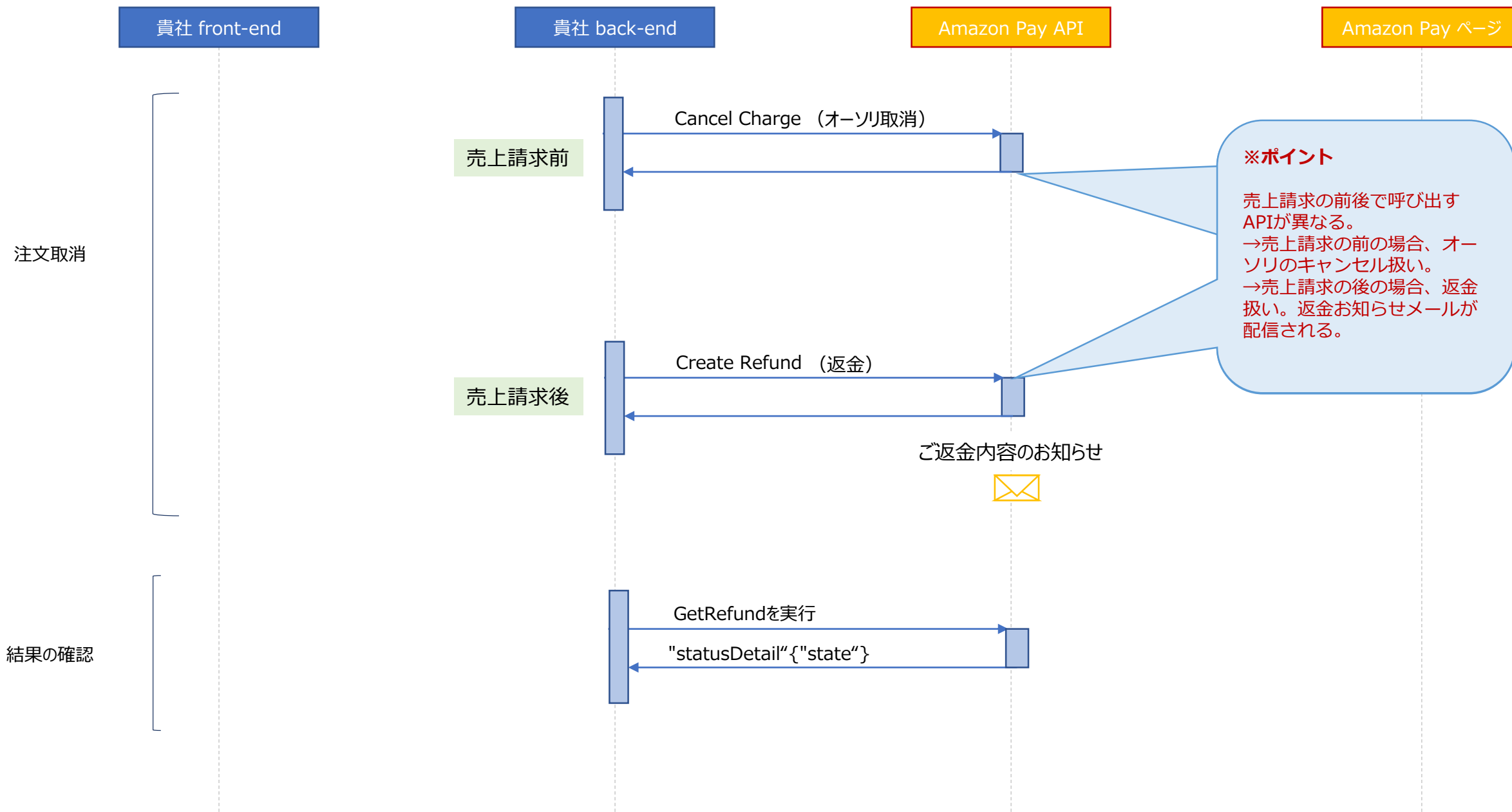


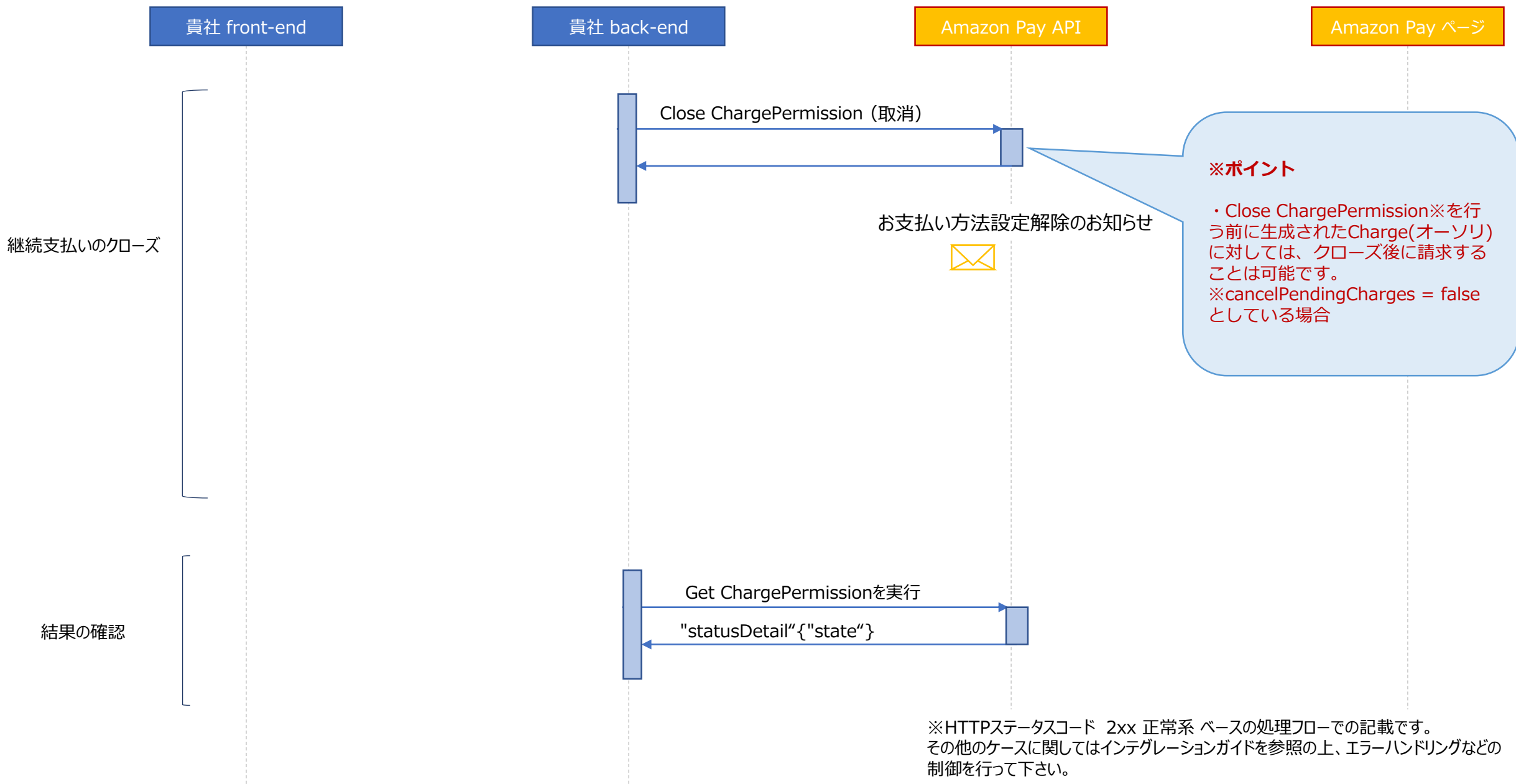












#	確認内容
1	確認画面において、住所、お支払い方法をShippingAddress、PaymentDescriptorを用いて表示しているか。
2	確認画面において、住所、お支払い方法に対してそれぞれ、「住所変更」ボタン・「お支払い方法変更」ボタンを配置しているか。
3	Amazonログイン後に、他の決済方法が表示され、購入者が混乱するようなフローになっていないか。
4	オーソリエラーのシュミレーションカードを用いて、エラー時のハンドリングができている事を確認しているか。 (正常終了(CheckOutSession = Completed)とそれ以外(CheckOutSession≠Completed)のフローに対して、ハンドリングができているか。)
5	商品の発送が伴う商材の場合、配送先住所がセラーセントラルに保存されているか。また、配送先住所とセラーセントラルに保存された住所に差異はないか。 (マーケットプレイス保証への考慮がなされているか)
6	Amazon Payが保持している可能性のある名前・住所の形式への考慮がされており、正しく処理されているか。 (左記FAQの住所パターンの確認： <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-8">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-8</a> )
7	対応ブラウザに全て対応しているか。
8	Private Keyが外部から参照可能な場所に保存されていないか。
9	バックオフィスシステムから、再オーソリ・Capture・Refundのオペレーションが問題なく行えるか。
10	Amazon発行メールに記載の各パラメータが適切に設定されているか。
11	初回以降に、適切なタイミングで課金を行う仕組みとなっているか。また、その際create Chargeのエラーハンドリングが適切にできているか。
12	Amazon ID/PWが漏洩する作りになっていないか。
13	ChargePermissionID、ChargeIDを事業者側のシステムに保存するような仕組みとなっているか。
14	配送先情報などの顧客情報が必要な場合は、DBに格納する実装になっているか。(ChargePermissionIDの顧客情報に関する項目は30日を超えると取得できない為)
15	CheckoutSessionが有効期限切れになるケースがあるか。ある場合、エラーハンドリングしているか。(CheckoutSessionの有効期限：24時間)
16	注文ボタン連打で複数注文されることはないか。

当章では、CV2実装の補足として以下3点について説明します。

1. その他の機能：アカウント項目、セラーセントラル、配信メール

2. アドバンスド機能：ログイン連携、

今すぐ支払うフロー(AdditionalPaymentButton機能)

3. CV2導入検討段階でよくある質問

CV1と同様に購入者情報、アドレス帳(shippingAddress)に加えて、請求先住所(billingAddress)もご利用いただけます。

※アカウント情報を取得するには、適切なスコープを設定する必要があります。

#	区分	項目名	概要	例
購入者情報	buyer	buyerId	購入者ID	amzn1.account.AEVQ6JHTOEK22F24YJM6XOXXXXX
		name	名前	鈴木一郎 ※姓で分かれません
		email	メールアドレス	amazon@example.com
		phoneNumber	電話番号	0312345678 ※ハイフン有無どちらもあります
アドレス帳	shippingAddress	countryCode	国コード	JP
		stateOrRegion	都道府県	東京都
		city		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (SANDBOX、US/EUでは有)
		county		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (US/EUでは有)
		district		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (US/EUでは有)
		addressLine1	住所 1 ,住所 2 ,住所 3	目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー アマゾンジャパン合同会社
		addressLine2		
		addressLine3		
		postalCode	郵便番号	153-0064 ※ハイフン有無どちらもあります
		name	名前	鈴木太郎 ※姓で分かれません
phoneNumber	電話番号	08012345678 ※ハイフン有無どちらもあります		

#	区分	項目名	概要	例	
請求先住所	billingAddress	countryCode	国コード	JP	
		stateOrRegion	都道府県	東京都	
		city		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (SANDBOX、US/EUでは有)	
		county		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (US/EUでは有)	
		district		※Amazon.co.jpでは存在しない項目 (US/EUでは有)	
		addressLine1	住所 1 ,住所 2 ,住所 3	目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー アマゾンジャパン合同会社	※AddressLine1～3に何を登録しているかはご登録者様次第
		addressLine2			
		addressLine3			
		postalCode	郵便番号	153-0064 ※ハイフン有無どちらもあります	
		name	名前	鈴木太郎 ※姓で分かれません	
phoneNumber	電話番号	08012345678 ※ハイフン有無どちらもあります			

- ✓ フリガナ・生年月日・性別は保持しておらず提供不可
- ✓ カード情報(カードブランド・下4桁など)も提供不可
- ✓ ギフト券のみを選択された場合、請求先住所・購入者情報の電話番号は連携されない

ここでは概要として重要なポイントをまとめています。その他事項・詳細については下記FAQをご覧ください。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-8>

セラーセントラルの操作方法及び表示文言にCV1から変更はありません。

ECサイトで保持しているCV2のオブジェクト・ステータスの情報とセラーセントラルの表示情報とを突き合わせる等の場合、セラーセントラル上の表示の読み替えが必要です。

※詳細は <http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-28>

**取引管理** [詳細はこちら](#)

注文ステータス (売上請求の可否)  日付の範囲

AmazonリファレンスID

日付	購入者氏名	購入者Eメールアドレス	合計注文金額	請求済み金額	返金済み金額	AmazonリファレンスID	販売事業者注文番号	注文ステータス (売上請求の可否)	処理
2020/06/11 11:05PM	安馬テスト	██████████@amazon.co.jp	¥123	¥0	¥0	S03-9620963-0664933	2020-00000099	Open	売上請求処理
2020/06/11 11:04PM	安馬テスト	██████████@amazon.co.jp	¥123	¥123	¥0	S03-1618733-1069529	2020-00000001	Closed	返金する

売上請求、返金等が取引単位で実行可能(CV1と変わらず)

Amazonからの購入者に配信されるメールについてはCV1から1種類の追加があります。

(※各メールの配信タイミングは、前章の処理フローを参照してください)

### 追加された配信パターン：

CompleteCheckoutSessionを実施しない場合に、取得したオーソリ・売上請求のキャンセルを通知するメールの配信が追加されました。

Amazon Payから配信されるメールの詳細は下記FAQをご覧ください。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-139>



マイページへログインなどに、Amazonアカウントでログインする為のボタンをご利用頂けます。

SignIn機能を用いて、ユーザー(ご購入者)の識別※を行って頂くことが可能です。

※ユーザーのログインに伴い、ユーザーごとのユニークなID(BuyerId)を渡すことができますので、事業社様側で保持している会員番号と紐付けなどを行って頂けます。

また、住所情報は会員登録の補助などにご利用頂くことが可能です。

Amazonでログインボタンの配置



BuyerTokenを取得

BuyerTokenを元にAPIでユーザー情報を取得

- BuyerId
- 氏名
- Eメールアドレス
- 郵便番号
- 国コード
- 住所
- 請求先住所
- 電話番号

※取得できる情報は設定したスコープによって変わります

下記FAQも合わせてご確認ください。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-50>

# (補足) SignIn機能の活用例

- ✓ 貴社会員番号とAmazonアカウントでサインイン後の取得可能なユーザIDを紐付けられるようDBへのカラム・またはテーブル追加を行って頂く必要がございます。



UserId	Name	Email	Password	Amazon BuyerId
1	Amazon Taro	taro@amazon.co.jp	*****	amzn1.account.001
2	Amazon Jiro	jiro@amazon.co.jp	*****	Null
3	Amazon Saburo	suburo@amazon.co.jp	*****	Null

# 今すぐ支払うフロー AdditinalPaymentButton(APB)機能

AdditinalPaymentButton(APB)機能をご利用いただくと、決済手段の一つとしてAmazon Payをご利用頂けます。

APB機能では、通常のAmazon Pay機能とは異なり、注文確認画面を挟まずに、Amazon Pay で管理する画面からスムーズに支払い完了のフローを構築することができます。

配送の伴う商材・デジタル商材ともに、この機能をご利用頂くことが可能です。

ただし、配送の伴う商材でAPB機能を用いた場合は、Amazonアカウントの住所をご利用頂くことができません。

APBを用いた時の大まかなフローとインテグレーションの流れについては、次ページをご参照ください。

当機能をご利用頂く際の具体的な設定値などについては、下記FAQをご確認下さい。

<http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-66>

カート画面

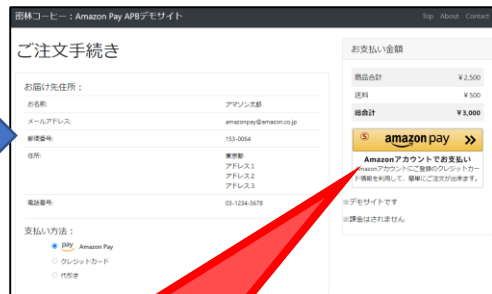
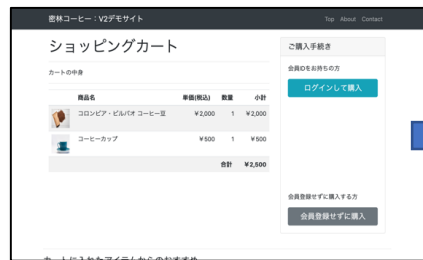
注文情報入力/確認

支払い方法選択/オーソリ取得

注文確定

配送

フロント



①ボタンの追加  
(JavaScript)  
金額

Amazon側



注文完了

サーバ  
サイド

与信処理  
※処理結果を元に、成功時の遷移先・失敗時の遷移先を指定する

売上請求

②APIコールの追加

③APIコールの追加

Q:	A:
CV1とCV2の併用は可能ですか？	<p>CV1で作成したBillingAgreement/Authorization/Captureオブジェクトを、CV2のAPIでオーソリする/売上請求する/返金することが可能です。</p> <p>詳細は、以下のFAQをご確認ください <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-16">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-16</a></p>
CV2の場合にデータベース等に保管が必要な情報は何か？	<p>取引の特定・API呼び出しに必要な ChargePermissionId(Amazon Payの注文ID)、 ChargeId(オーソリ/売上請求の取引ID)、 RefundId(返金の取引ID)、 及び BuyerId(購入者固有のID) を保管しておくことを推奨します。</p> <p>詳細は、以下のFAQをご確認ください <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-19">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-19</a></p>

Q:	A:
課金できる上限はありますか？	一つのCharge Permissionにつき、毎月の上限は、10万円です。
セラーセントラルから継続支払いの情報であるChargePermissionId(Recurring用)を確認できますか？	セラーセントラルの取引管理画面にはChargePermissionId(Recurring用)は表示されません。 そのため、継続支払い情報を確認したい場合は、API実行して取得した情報を御社システム側で保持していただく必要があります(子情報に当たる毎月等の取引データ(Chargeレコード)はセラーセントラルで確認できます)
Charge Permissionに紐づけているお届け先、支払い方法を変更することは可能ですか？	お届け先については、購入者が後に変更することはできません。 この場合は、購入者に改めて契約を行って頂く必要があります。  支払い方法については、購入者がAmazon Payのマイページを利用して、支払い方法を変更することが可能です。 <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-47">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-47</a>
2回目以降の請求が失敗することはありませんか？	はい。購入者のカードの状況によってありえます。(例：カードの有効期限切れ など) このような場合は、事業者から購入者に連絡を行い、購入者の支払い方法を更新して頂いた後に、再度請求のリクエスト(API call)を行う必要があります。 <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-45">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-45</a>
Recurringの継続支払いを、購入者が事業者サイト以外で解除することはできますか？	はい。Amazon Payのマイページより、継続支払いを解除することが可能です。 ※あくまでAmazon Payの継続支払いの解約です。貴社が提供するサービスの解約は貴社規約等に準じてください。 継続支払いが解除された場合の対応方法については、以下のFAQをご確認ください。 <a href="http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-43">http://amazonpay-integration.amazon.co.jp/amazonpay-faq-v2/detail.html?id=QA-43</a>

## ご注意事項

- 本資料に含まれている情報は、弊社の秘密情報を含んでいます。本資料に記載された情報の第三者への共有、その他の使用は禁止されていることをご了承ください。
- 本資料に記載の内容は2021年6月14日現在のものであり、これは弊社において予告なく変更等する場合があります。あらかじめご了承ください。
- Amazon、Amazon.co.jp、Amazon PayおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。無断転載・改変・複製等の一切の行為を禁止します。